

第5回安心部会での主な意見

場所：富山市役所議会棟8階第2委員会室

日時：平成18年10月27日

14:00～16:00

1 全体に関すること

- ・新市建設計画の事業はどの程度前期基本計画に反映されているのか。
- ・指標の目標設定の根拠と目標に向かう手段についての説明が必要ではないか。
- ・市民に期待する役割の語尾が押し付けがましくないか。(「～こと。」としてはどうか。)
- ・市民に期待する役割について、もっと強く行動を求める表現にできないか。

2 個別に関すること

- ・子育ての意識啓発には、14歳の挑戦などでの体験を通して学ぶことが重要である。
- ・44頁 子育て意識の啓発の文中に「小中学生、若い世代に対し」を加えてはどうか。
- ・48頁に子どもの安全マップづくりを書き込んではどうか。
- ・地域づくりを推進することと、学校選択制を推進することに矛盾はないか。(校区という単位が崩れることにより、地域連帯も崩壊するのではないか)
- ・62頁の指標「全国平均を上回る体力テストの項目割合」を過去の体力のピーク時と比較することを指標としてはどうか。
- ・65頁の健康づくりにHIV対策や禁煙などに対する視点はないのか。
- ・今後は特養の整備はあまり行われなと思うが、“特別養護老人ホームの整備を促進する”という表現は誤解されないか。
- ・78頁の「各種ボランティア団体」とあるが、社会教育団体やNPOなど幅広く捕らえるのであればもう少し表現を考えられないか。
- ・災害時の避難場所として自治会の公民館も活用できないか。
- ・結婚や性に関する価値観の多様化、いじめの頻発などがあり、中学生など若い世代に規範的・伝統的価値を伝えていく必要がある。
- ・シナリオに基づいた事例演習により、計画案の妥当性を確認することができるのではないか。

第5回 安全部会での主な意見

場所：富山市役所議会棟8階 第4委員会室

日時：平成18年10月24日(火)

10:00 ~ 11:50

1 全体に関すること

- ・危機管理体制の整備は全部会の横断的性格を持つ。全ての政策に係っている21頁の「新しい富山を創る協働のまち」の「新しい行財政システムの確立」の中に危機管理体制の整備を入れてはどうか。
- ・安全なまちづくり全体としてどのように進んでいるのかチェックするような大きな指標はないか。
- ・指標の立て方のルール・考え方はあるのか。
- ・176頁に交流人口増加対策等について述べているが、人口増施策について検討してはどうか。人口自然増の施策を考えていただきたい。
- ・特に家庭の教育力の向上について考えていただきたい。
- ・10年後、市が躍動するような、明るい表現が必要。

2 各論に関すること

- ・10頁。「安全で犯罪のない明るい社会を目指して安心して暮らせるまちづくりを進めます。」と入れれば、安全が明確に示されるのではないか。
- ・外国人犯罪がこれから増えてくるという考え方も出てくるのではないか。犯罪の抑止を強調するため「市民が安全に暮らせるまちづくり」をもっと力強い表現にして欲しい。
- ・森林の「公益的機能」という文言を盛り込んでどうか。
- ・防災意識という所が全く重複している書き込みがある。97頁の と83頁の 。工夫が必要である。
- ・浸水だけでなく、排水対策についても強調して述べてもらいたい。
- ・自主防災組織について、82頁と96頁に重複して書かれているが、もう少し分かるように表現してはどうか。自主防災組織の指標について、目標値が非常に高い。実現可能な指数なのか。
- ・市民に期待する役割の所に、「農家に期待する役割」を記載し、土地を大いに活用し、安全安心な野菜をどんどん作って欲しい。
- ・194頁の「生産者は安全な地場産品の供給に努める」という記載について、安全安心の所にも入れていただきたい。

- ・項目によって、指標と事業の組み立てが分からないものがある。例えば102頁の指標が野菜作付面積で市場整備が事業となっている。
- ・102頁。野菜作付面積の指標の他に生産トン数についても考えて欲しい。

第5回 潤い部会での主な意見

場所：富山市役所議会棟8階 第4委員会室

日時：平成18年10月26日(木)

10:00 ~ 11:56

1 全体に関すること

- ・指標について、10年先などの長期的な目標を示せないか。
- ・指標について、現状と課題の記載内容に合う指標を設定できないか。
- ・指標について、施策の実現のため何故必要か選んだ理由などの説明が必要でないか。
- ・市民に期待する役割の表現について、全体的に「参加する。」という表現をもう少し市民のかかわりを意識した「参画する。」という表現にできないか。
- ・計画書の表現について、中山間地域、水辺、海辺などを市民にわかりやすくビジュアルに表現する工夫が必要である。
- ・地域力を高めるためには、行政センター等の効果的に機能するよう行政システムの構築が重要である。
- ・ソフト面をしっかりと考えたハード整備が大切である。

2 個別に関すること

- ・122頁歩行者通行量調査結果について、調査地点などの詳細を明示すべき。
- ・122頁の中心市街地と124頁の中心市街地の関連が不明である。
- ・市民に期待する役割について、125頁の2番目は「商店街は良好な景観の創出に努め、市民は景観を保全する責務を果たす。」というように具体的に記述できないか。
- ・129頁の「地域の交流施設を利用する。」については、単に利用するだけでなく「大切に保存し、活用する。」という表現のほうが市民も責任をもって行政とともに施策を進める意識が表れるのではないか。
- ・同頁の「地域を知り、大切に作る。」だけではなく、「地域のよさを教える。」という行動に結びつく表現が必要でないか。
- ・130頁の表現については、「事業者は環境に関する法の遵守に努め、市民は自分の身近での美化に努める」という積極的な内容が必要ではないか。
- ・133頁では、「高齢者や障害者など様々な人々の居住について理解しあう。」など相互扶助の精神の記載がほしい。
- ・129頁の「温泉施設利用客数」は施策の内容のごく一部であり、施策の内容に合う指標を設定できないか。
- ・市民に期待する役割について、138頁の表現はいいが、140頁の表現については中山間地域で暮らす人の役割が見えない。例えば、中山間地域で暮らす人の交流活動に触れるような表現はできないか。

- ・ 140頁に中山間地域がどこなのか一目でわかるような図が必要でないか。
- ・ 143頁のD I D人口の指標について、経年の変化を捉えた上でどうすべきか表現すべきである。
- ・ 147頁の市民に期待する役割について、地域での便利な生活には、地域の商店の維持することが大切であり、このためには、市民が地元商店を振興し維持することへの取り組みが重要である。
- ・ 公共交通網の整備と一体的に道路網を整備することは重要であり、各項目においても一体的に取り組んでほしい。
- ・ 150頁に乗客数の表があるが、乗客が減少している状況が把握できない。指標ともつながっていないので整理が必要でないか。
- ・ 市民の役割の表現で、149頁は「事業所」とあるが151頁は「企業」といっており統一すべきでないか。
- ・ カーシェアリングの取り組みが必要でないか。
- ・ 中山間地域の豊かな自然をしっかりと守りながら、森林浴などに活用するような取り組みを進めてほしい。また、合併前の地域の要望も計画に反映してほしい。
- ・ 広報紙で総合計画についての市民の意見を求めているが、計画内容をほとんど示していないので、もっと積極的に内容を公表し、意見を求めるべきである。

第5回 活力部会での主な意見

場所：富山市役所議会棟8階 第4委員会室

日時：平成18年10月24日(火)

14:00 ~ 15:40

1 全体に関すること

- ・目標指標設定の基本的考え方を示されたい。
- ・現状と課題と資料の図表が連動していないものもある。レイアウトを考えてはどうか。
- ・県は絶対値を書くのではなく、現状維持とか2倍を目標にするなどという表現として
いる。目標数値の表し方を検討されたい。
- ・バランスの問題であるが、農業に比べ工業・中小企業の記述が少ないのはなぜか。
- ・第2次産業の製造業になぜ特化するのかという背景や考え方を補う。
- ・196頁の指標で、これだけの新規事業が出来る事によって新規雇用が創出できると
いった成果の捕らえ方もあるのではないか。

2 個別に関すること

- ・ストロー現象にならないよう、富山地域における観光ポイントと連携し、広域観光を
推進していくメニューが必要ではないか。リピーターになるような施策が必要。
- ・富山には乗り物が多岐にわたる。乗り物も観光資源であるという付加価値として富山
市を中心とした広域の観光として考えていけばどうか。
- ・「富山らしい」とよく使うが、コンセンサスを得ていかないと方向性がまちまちになる
のではないか。議論してアクションに繋げる必要があるのではないか。市民に分かり
易い表現にできないか。
- ・富山ブランドのコンセンサスを得る事は難しい。かなり絞り込んでいかないと海外・国
内でのPRは難しい。イメージが拡散しないよう、全体像を作らなければならない。
- ・192頁 地域に根ざした農林漁業への支援について、地場産品の高付加価値化とあ
るが具体的イメージは。
- ・他業種交流の場をどう作るかが大事。人材、特に若い発想力が必要である。農業と加
工販売との接着剤的なものへの支援が必要。
- ・仕掛けや場を作る人、コーディネーターが必要。行政は後押ししていく事が必要。
- ・190頁の4段落目、これからの農業は効率化の他、「環境や農村社会を維持しながら
持続的な農業を一層推進する必要がある。」という事も入れていただきたい。
- ・指標の選定の基本的な考え方が必要。水産畜産関係の指標はないかも含め検討願いた
い。出荷野菜等の栽培面積率の指標の具体的な中味は何か。

- ・製造業の付加価値の指標について、質的な指標を掲げることは良い事であると思うが、一般の企業であれば5年後の数値はこのように3, 4%程度の上げ方はしない。何割上げるといふうにしないと実現はしない。指標の設定の仕方はどうか。
- ・企業の目標としては大事であると思うが、行政がどのような関わり方をするのか。
- ・事業所数が減り雇用が減る中、行政として具体的施策を盛り込む必要があるのではないか。
- ・工業を振興していく施策を打ち出す事は大変良いことである。さらに付加価値を高めていく視点を盛り込んだ施策は打ち出せないか。